

## 0 推進協議会（第1回）の概要

## 1 高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針の概要基盤

## 2 基盤整備等検討の進め方

## 3 東西通路・新改札整備に係る検討

- (1) 東西通路整備の方向性について
- (2) 東西通路の断面イメージ
- (3) 東西通路の事例

## 4 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討

- (1) 歩行者広場整備の基本的な考え方
- (2) 歩行者広場の機能イメージ
- (3) 広場活用の事例紹介
- (4) 歩行者広場の機能イメージ



# 0 推進協議会（第1回）の概要



日時：令和5年2月10日（金）13時30分～14時45分

場所：戸塚地域センター7階 多目的ホール

## 【主なご意見等】

- 検討スケジュール（案）では、令和7年以降を目標としているが、東口再開発とも連携し早く検討を進めるべき。
- 資料については、文字が多すぎるため、図や写真を用いてわかりやすくしてほしい。
- 検討の進行状況に応じて、推進協議会の開催頻度を年1回程度より増やすべき。
- 高田馬場には福祉機能が集積しているため、それに特化するまちづくりができれば、皆が住みやすいまちになるだろう。

# 1 「高田馬場駅周辺エリア まちづくり方針」の概要



# 1 「高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」の概要

## 1. 策定の目的と位置づけ

### (1) 策定の目的 (本編P1)

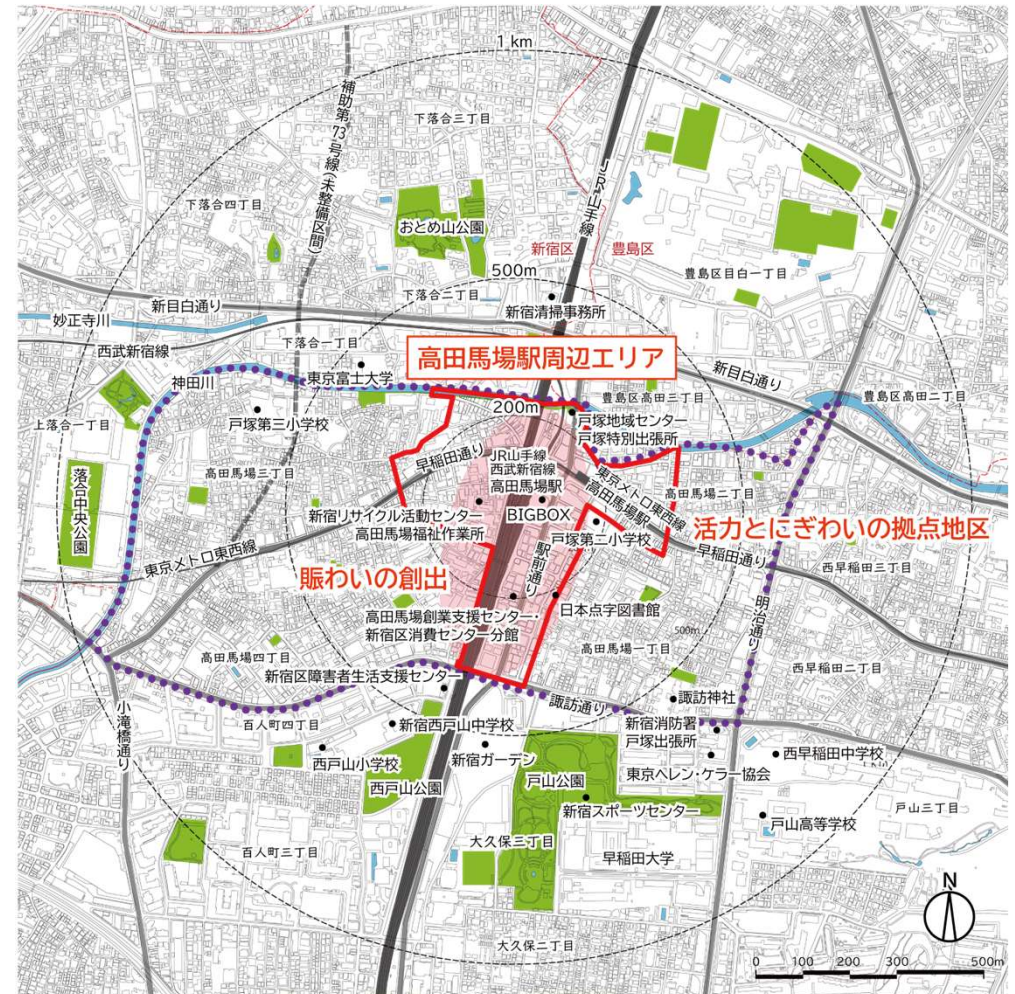
平成28 (2016) 年3月、高田馬場駅の東側区域を対象に地元住民等を主体とした協議会が設立され、平成30 (2018) 年12月に「高田馬場駅周辺地区まちづくり構想案」がとりまとめられました。

高田馬場駅周辺の地域課題を解決するため、令和2 (2020) 年より、さらに駅の西側、北側を含めた広域的なまちづくりについて検討してきました。

高田馬場駅周辺の地域課題やまちの将来像を区民・事業者・行政等が共有し、連携して広域的なまちづくりを進めるため、まちづくり方針を策定します。

### (2) 対象範囲 (本編P1)

「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針 (令和2 (2020) 年12月 東京都)」において「活力とにぎわいの拠点地区」に設定されている「高田馬場」の区域及びそれに関連する範囲とします。



#### 凡例

高田馬場駅周辺エリア	—
新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針「活力とにぎわいの拠点地区」	—
新宿区まちづくり長期計画まちづくり戦略プラン「賑わいの創出」	—
高田馬場一丁目～四丁目	●●●●



## (3) 位置付け (本編P2)

東京都の行政計画

### 都市づくりのグランドデザイン (平成 29(2017)年 9 月 東京都)

#### ●高田馬場の将来像

駅の改良、駅前広場や歩行者空間の整備が進むとともに、商業、文化・交流、教育、宿泊、居住などの機能が集積し、戸山公園や神田川の水と緑と調和した、にぎわいのある拠点

新宿区の行政計画

### 新宿区まちづくり長期計画都市マスタープラン (平成 29(2017)年 12 月 新宿区)

#### ●戸塚地域の将来像

心豊かに集う、文化と福祉と若者のまち

### 新宿区まちづくり長期計画まちづくり戦略プラン (平成 29(2017)年 12 月 新宿区)

#### ●戦略の方向性

賑わいとユニバーサルデザイン\*のまちづくりの推進

高田馬場駅周辺地区まちづくり構想案 ■■■▶ 本編 P39 まちづくりトピック  
(平成 30(2018)年 12 月 高田馬場駅周辺地区まちづくり協議会)

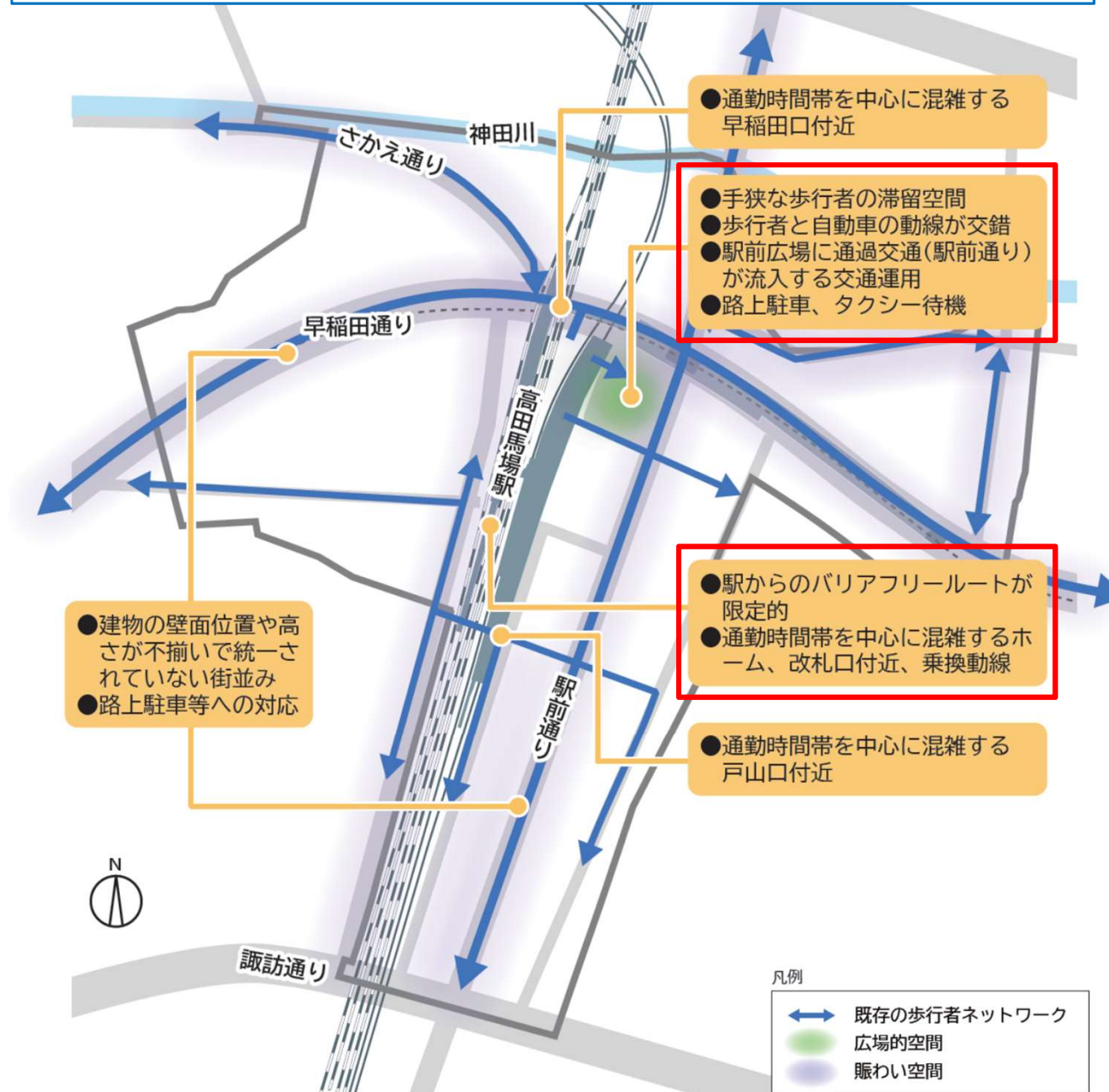
高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針

# 1 「高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」の概要

資料4

## 4. まちの将来像 (本編P18)

### まちの現況図 (本編P18)



# 1 「高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」の概要

資料4

## 4. まちの将来像 (本編P18)

### まちの将来イメージ (本編P19抜粋)



#### 【高田馬場のシンボル空間】

- 歩行者広場への再編
- 駅前広場の拡充
- 駅前通りの機能強化

#### 【高田馬場の新たな玄関口】

- 東西通路・新改札口の整備
- 交通広場の整備  
(駅前広場の拡充)



## 2 基盤整備等検討の進め方

---



## 2 基盤整備等検討の進め方

- まちづくり方針の策定を機に、地元のまちづくりの機運の高まりに応じて、駅東側ゾーン、駅西側ゾーンまたは駅北側ゾーンのまちづくりを段階的に進めていくことで、駅まち空間の形成とともに、高田馬場駅周辺エリアにおける将来像の実現を図ります。
- まちづくり推進検討委員会とまちづくり推進協議会が連携し、第1段階として駅東側ゾーンについて都市基盤のありかたを検討していきます。

令和4年7月

高田馬場駅周辺エリア  
まちづくり方針の策定

駅東側ゾーン  
のまちづくり

駅西側・駅北側ゾーン  
のまちづくり

高田馬場駅周辺エリア  
将来像の実現

### 第1段階：駅東側ゾーンのまちづくり



### 第2段階：駅西側・駅北側ゾーンのまちづくり



※今後、技術的な検討を行い、関係機関との協議・調整等を踏まえながらまちづくりを進めていきます。

出典：高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針（令和4年7月）より抜粋

## 3 東西通路

### ・ 新改札整備に係る検討



- (1) 東西通路整備の方向性について
- (2) 東西通路の断面イメージ
- (3) 東西通路の事例

### 3 東西通路整備に係る検討

資料4

#### (1) 東西通路整備の方向性について

まちの将来イメージ（本編P19抜粋）



【高田馬場の新たな玄関口】

●東西通路・新改札口の整備

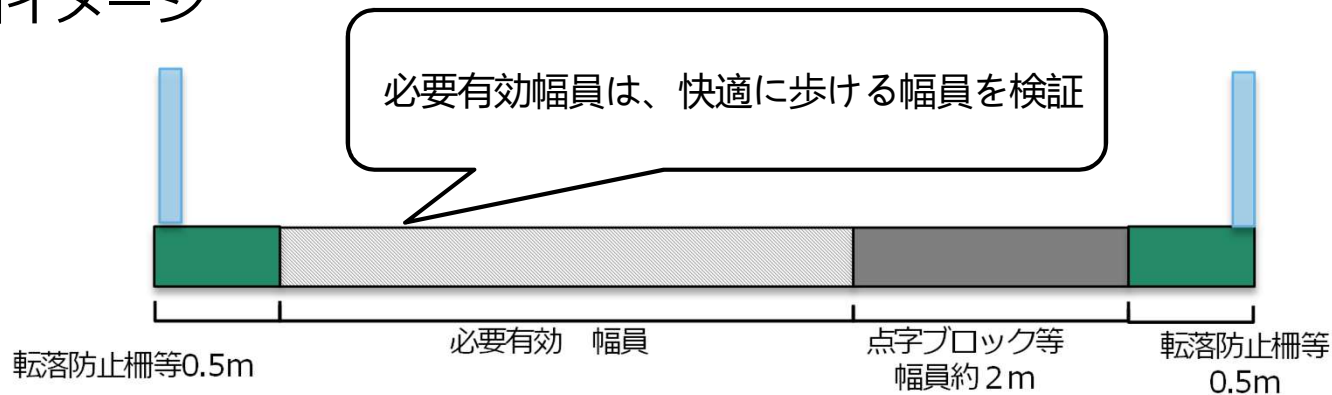


# 3 東西通路整備に係る検討

## (2) 東西通路の断面イメージ

➤ 東西通路の断面イメージとして、歩行者交通量を踏まえた必要有効幅員のほか、バリアフリー通路、転落防止柵等を設置

### 東西通路の断面イメージ

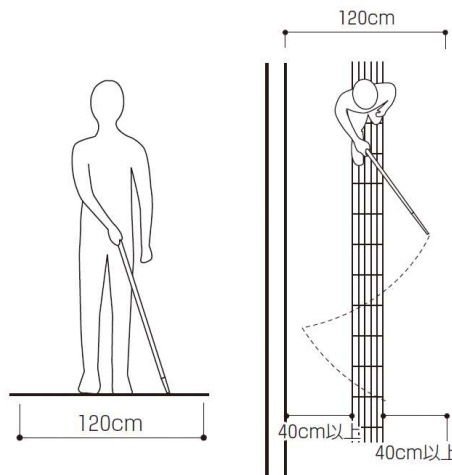
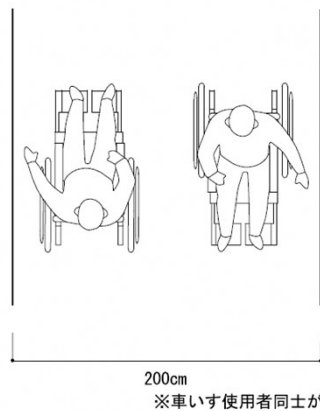


【参考】車椅子利用者の通行幅員の考え方

【参考】白杖者（杖使用者）の歩行幅員の考え方

【参考】二子玉川東地区（二子玉ライズ）歩行者ブリッジ1号

【図17.1】公共的通路の幅



駅側より公園側を見た歩行者ブリッジ1号（両サイドに植栽帯あり）

出典：「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」（平成31年（2019年）3月、東京都）

出典：「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」（平成31年（2019年）3月、東京都）

・通路+転落防止柵+植栽帯等

## (3) 東西通路の整備事例

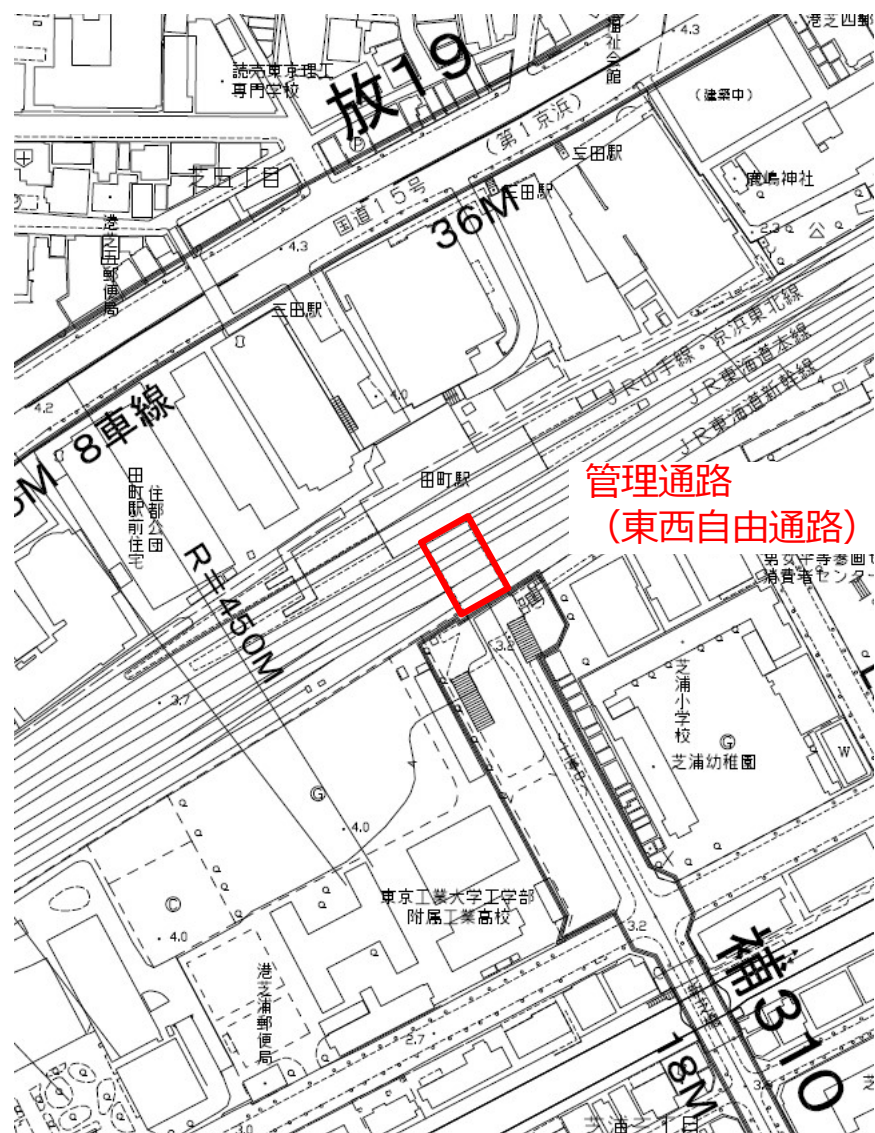
### 東京23区内を中心とした4事例を紹介

- ① 田町駅（東西自由通路）
- ② 川崎駅（北口自由通路+北口改札+線路上空活用した商業施設）
- ③ 大崎駅（東西自由通路〈夢さん橋〉+地域イベント）
- ④ 中野駅（南北自由通路+西口改札+線路上空活用した商業施設）

### 3 東西通路整備に係る検討

#### (3) 東西通路の整備事例① 田町駅【整備済】

(東西自由通路)



改札直結の東西自由通路



# 3 東西通路整備に係る検討

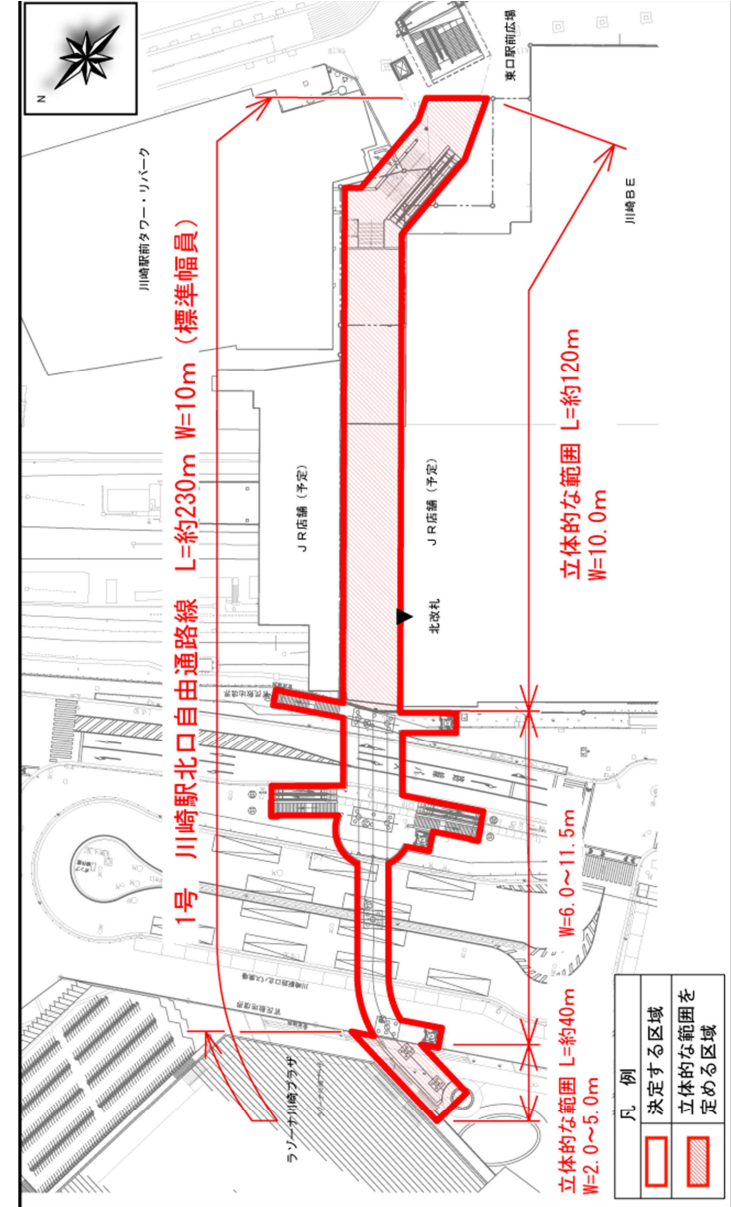
## (3) 東西通路の整備事例② 川崎駅北口【整備済】

(北口自由通路+北口改札+線路上空活用した商業施設)

自由通路 1層部分



自由通路 2層部分 テラス

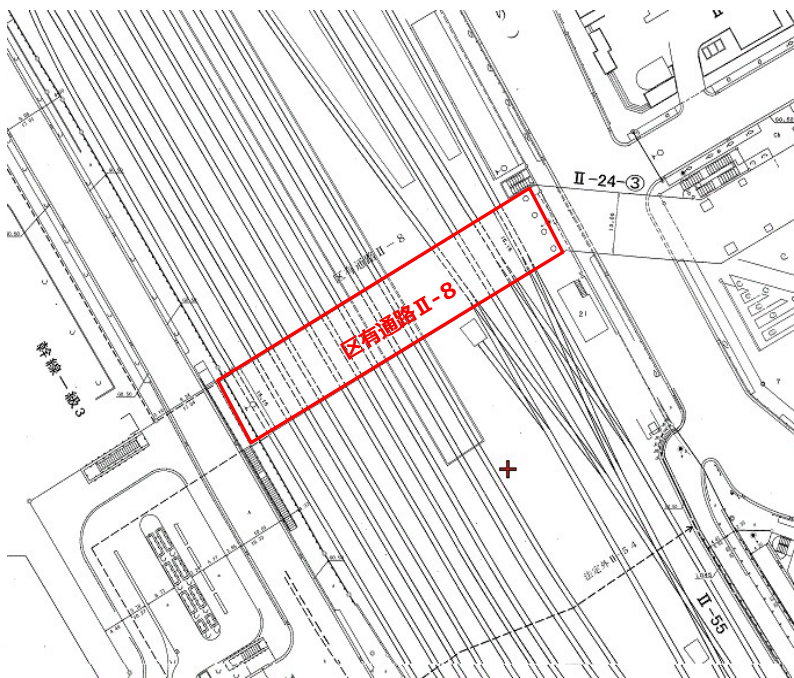




# 3 東西通路整備に係る検討

## (3) 東西通路の整備事例③ 大崎駅【整備済】

(東西自由通路〈夢さん橋〉+地域イベント)



出典：大崎エリアマネージメントアーカイブ

# 3 東西通路整備に係る検討

資料4

## (3) 東西通路の整備事例④ 中野駅【整備中】 (南北自由通路+西口改札+線路上空活用した商業施設)

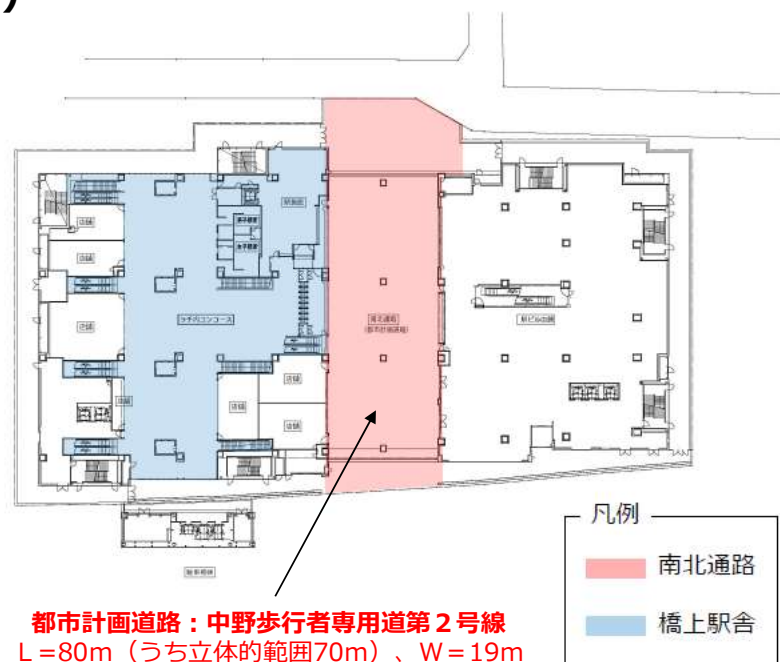


外観整備後イメージ(新北口)

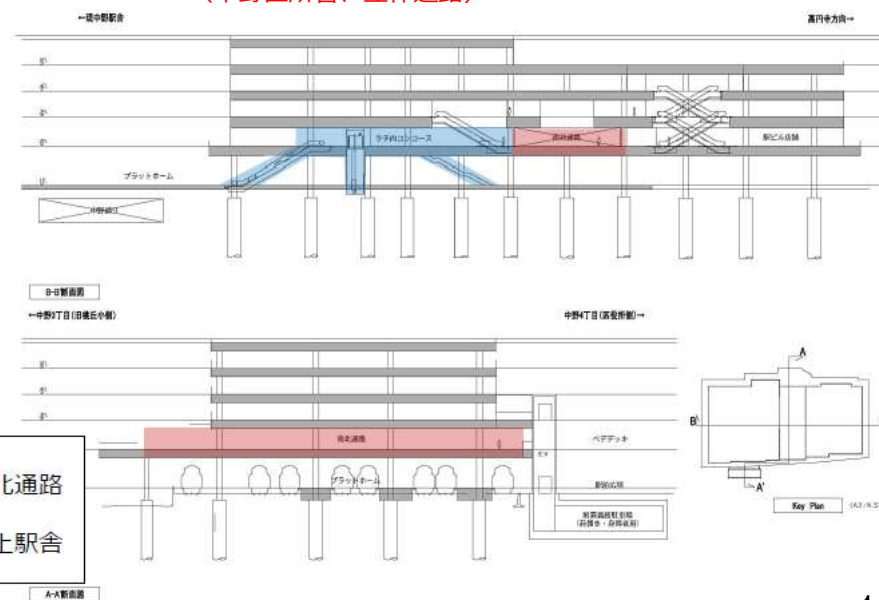


南北自由通路整備後イメージ

2階平面図



断面図



## 4 駅前広場整備 (歩行者広場) に係る検討



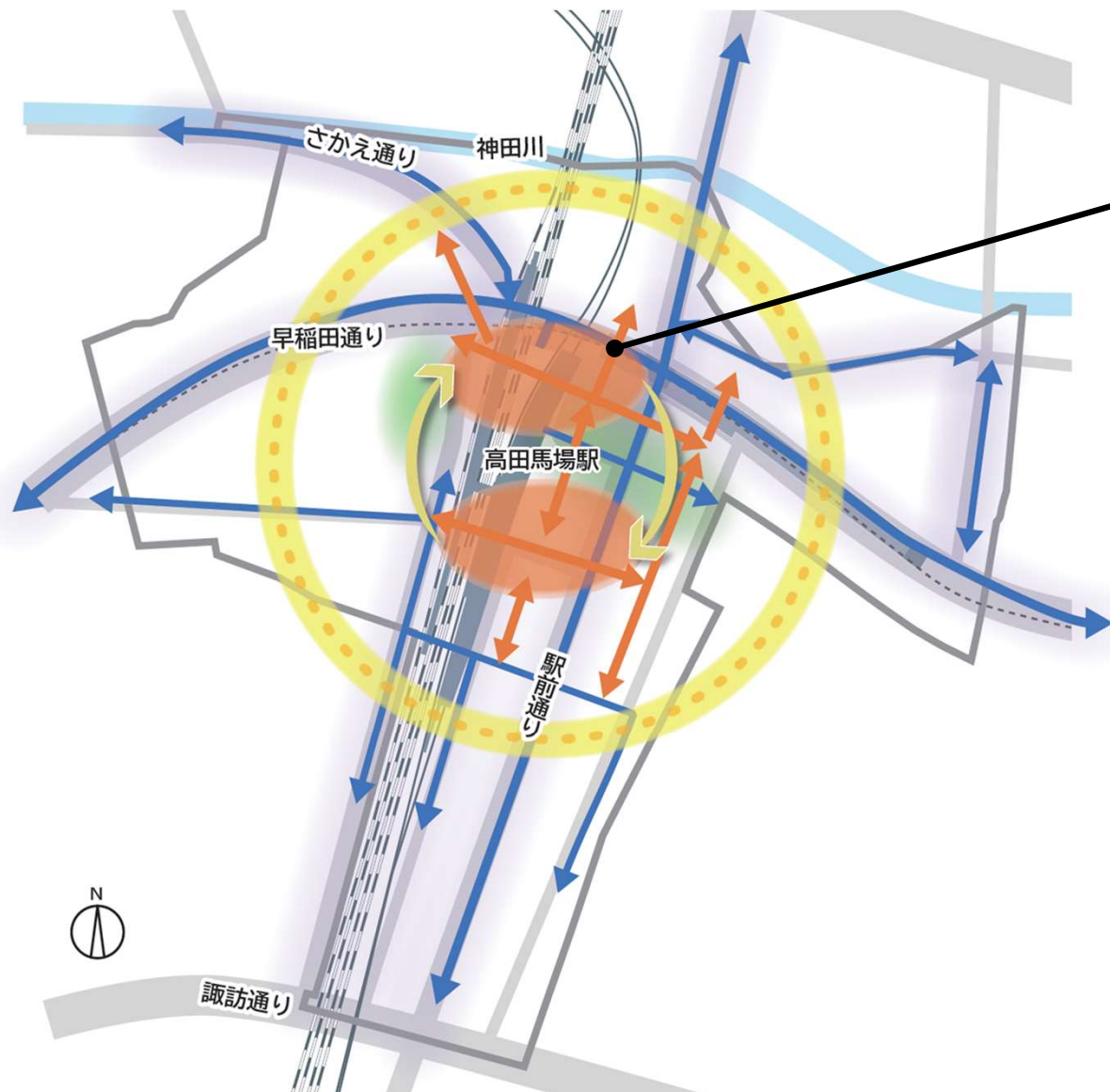
- (1) 歩行者広場整備の方向性について
- (2) 歩行者広場整備の基本的な考え方
- (3) 広場の整備事例
- (4) 歩行者広場の機能イメージ



# 4 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討

## (1) 歩行者広場整備の方向性について

まちの将来イメージ（本編P19抜粋）



### 【高田馬場のシンボル空間】

- 歩行者広場への再編
- 駅前広場の拡充



# 4 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討

## (2) 歩行者広場整備の基本的な考え方

まちづくり方針における歩行者広場（駅前広場東側）の考え方

### 高田馬場のシンボルとなる歩行者広場の整備

現在の駅前広場は、まちのシンボルとなる歩行者中心の広場として再編します。ゆとりある歩行者広場を形成することで、柔軟な利活用(お祭りイベントや働く場所、休憩スペース等)に対応し、まちの更なる賑わい創出を図ります。



### (3) 広場の整備事例

#### 東京23区内を中心とした4事例を紹介

- ①新宿三丁目モア4番街 … 賑わいの演出と回遊性向上
- ②丸の内仲通り（千代田区） … 休憩空間の創出
- ③さかさ川通り（大田区蒲田） … 地域の交流
- ④御堂筋（大阪市） … 居場所の創出

## (3) 広場の整備事例① 新宿三丁目モア4番街

**概要：**オープンカフェを常設し、町的美観維持に資するものとされており、店舗運営者が継続的に道路の管理を行うことから、違法駐輪等の問題が解消した。  
イベントも定期的に行われており、新宿駅周辺の回遊性を高め、来街者が歩きたくなる歩行空間確保を目指している。

【利活用方法①】 食事を通じた賑わい演出



【利活用方法②】：イベントによる歩きたくなる空間創出



オープンカフェなど賑わいと休憩のためのスペースの常設や、お祭りやイベントの実施による賑わい形成



## （3）広場の整備事例② 丸の内仲通り

**概要**：周辺の地下通路や緑道なども道路占用事業の区域内に含み、それぞれの立地、空間特性に合わせた活用や事業を行っている。

さらには、時代性のある催事を行うことで、就業者同士の交流の創出にも貢献している。

【利活用方法①】：ファニチャーを用いた休憩空間の創出

【利活用方法②】：空間特性に合わせたイベントの実施



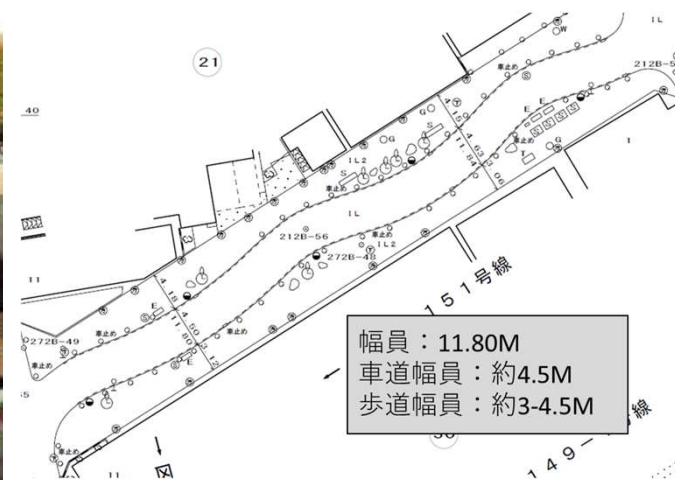
地上と地下のそれぞれの空間特性を活かした活用



## (3) 広場の整備事例③ さかさ川通り（大田区蒲田）

**概要**：多くの周辺住民の方から幅広く意見を募りながら計画が立案された。基本的には歩道部分のみの道路占用となるが、車道を使う場合は別途車両通行止めの手続きを行うことで占用可能となっている。

**【利活用方法①】**：イベントを通じた地域の交流

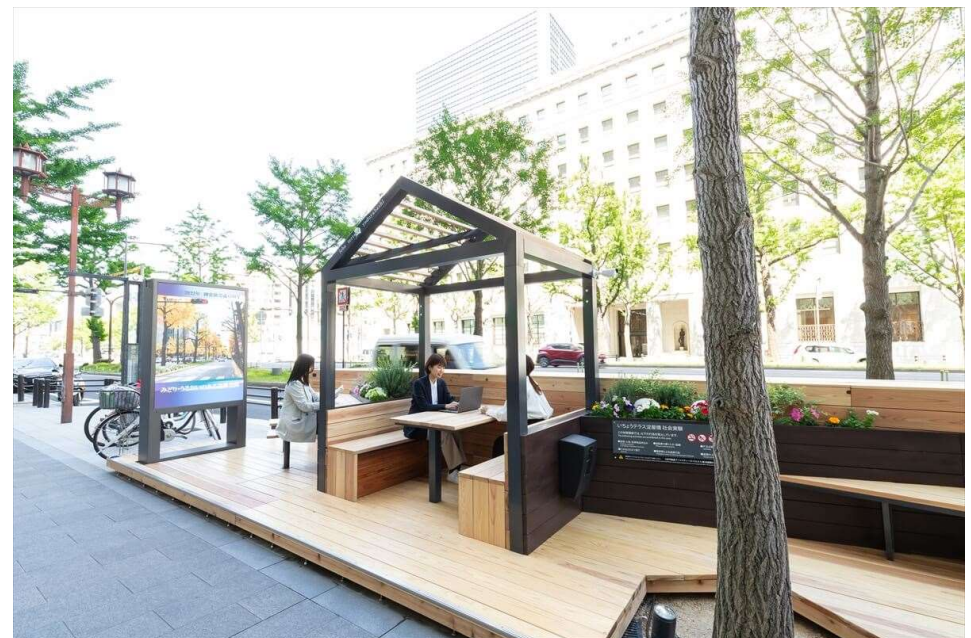


イベント時などに、沿道と一体となった公共空間の利活用

## (3) 広場の整備事例④ 御堂筋（大阪市）

**概要：** 第二回までの社会実験では国道の歩道部分と緩速車線の一部を使っていた。現在では歩道部分のみがほこみちとして指定され、地域のにぎわい創出に貢献している。  
また、御堂筋南部のなんば駅前広場もほこみちに指定され、広場の再編を通し、御堂筋との一体的な利用が計画されている。

**【利活用方法①】：** パークレットを用いた居場所の創出



移動だけでなく、休憩などの滞留機能も備えた利活用



## （4）歩行者広場の機能イメージ

4つの整備事例から得られた内容を整理し、歩行者広場に適応させると以下の4機能が考えられる

- ①歩行者広場を用いた店舗の常設やイベントの開催
- ②地上、地下空間それぞれの空間特性を踏まえた利活用
- ③車道の占用も視野に入れた、歩行者広場との一体的な利活用
- ④「移動」だけではなく、「憩い」などの機能を備えた空間の整備

